

一財) 日欧産業協力センター ウェビナー

EU が目指す炭素国境調整措置(CBAM)とは
～7月14日の法案発表を受けて～

欧州委員会は7月14日、気候変動対策の法案パッケージ「Fit for 55」(FF55)を発表しました。55は温室効果ガス(GHG)排出量を2030年までに1990年比で少なくとも「55%」削減するというEUの目標数値で、FF55はそれを実現するための具体的な法案をまとめた欧州委員会の包括提案ですが、その包括案の中でも中核的な役割を果たすことが期待されているのが「CBAM」(国境炭素調整措置)です。

同措置は、カーボン・リーケージ対策として、EU製品と域外からの輸入製品との炭素価格を均等にして、気候変動対策がEUに比べて緩い国への生産移転を防止する効果を狙ったものですが、一方でEU域外の国々の温室効果ガス削減努力を促進し、EUと同レベルの気候変動対策を講じる動機づけになることも期待されています。

同措置は、2023年1月から2025年12月までの当初3年間は予備段階・移行期間(pilot phaseまたはtransitional period)として報告義務のみ課せられ、炭素価格の実質的な調整は2026年以降となっています。

いずれにしても同措置が導入された場合、WTOルールとの整合性の観点も含めて世界の貿易秩序や対EU関連事業を展開する日系企業にも大きな影響を及ぼしかねず、今後の動きが注目されます。そこで、今回のウェビナーでは、CBAMの仕組み、導入スケジュールと対象範囲、関係国やWTO等国際機関との調整などについて、欧州委員会税・関税総局で法案設置に直接携わった講師より直接お話しいただきます。

日本時間の夕刻ではありますが、是非ご参加いただきますようご案内いたします。

記

1. 日時：
2021年10月6日(水) 16:00～17:00 東京(9:00～10:00 ブラッセル)
2. 使用言語：
英語および日本語(同時通訳付)
3. プログラム：
16:00～(9:00～) 開会の辞
[一財\) 日欧産業協力センター](#) 欧州側専務理事 **Philippe DE TAXIS DU POET**



16 : 00~16 : 40 (9 : 00~9 : 40) プレゼンテーション

[EU 税・関税総局 \(EU GD TAXUD\)](#) Head of Unit of Indirect Taxes other than VAT

Vicente HURTADO ROA 氏

16 : 40~17 : 00 (9 : 40~10 : 00) 質疑応答/ディスカッション

モデレーター：[一財](#) 日欧産業協力センター 日本側専務理事 田辺 靖雄

4. 参加料：

無料

5. 参加登録：

本ウェビナーは ZOOM で実施いたします。参加登録は以下登録リンクからお願いいたします。

[ZOOM 登録リンク](#)

6. Q & A:

ウェビナー中のご質問は、お手元の端末から Q&A 欄ご入力いただけますが、時間等との関係からお受けできない場合もございますので、予めご了承ください。なお、予めの質問もお受けいたしますので、ZOOM 参加登録の際、質問/コメント欄にご記入ください。

以上